2011-A

国際機関名（英語略称）:	国際船舶データベース監督委員会 (EQUASIS SC)
英文名称:	European Quality Shipp-ing Information System Supervisory Committee
種　　別	国連（事務局）　国連（基金・計画）　国連専門機関　その他

【所管官庁担当局課・室名】:国土交通省海事局安全政策課

【当該国際機関の本部所在地・活動目的等の概要】

本機関は、船舶に関する種々のデータを公表し、透明性を高めることにより、海上安全及び海洋環境の保全を促進することを目的として、主要海事当局間の取り決めにより設立されたもの（本部:ポルトガル）であり、2000年から暫定運用を開始している。我が国は、主要海運造船国としての責務から、本システムの運営を決定する監督委員会のメンバーとして、平成14年度から分担金の支払いを開始した。

本システムは、国際海事機関（IMO)の委員会にあわせ、年に2回ほど監督委員会を開催し、我が国を含む国際的要請に応え、運営方針を決定している。

【当該国際機関の財政（2011年予算）】

当該年度の総収入額: 468,000EUR

当該年度の総支出額: 460,407EUR

次年度への繰越額: 7,593EUR

会計検査機関名: Panel of External Auditors,Comptroller and Auditor General of India

（現在の構成員の出身国: インド）

【任意拠出金の拠出上位5ヶ国等 （2011年のもの）】

	国　　名	金額（千ユーロ）	拠出率（%）（注）
1位	日本	52	11.1 %
2位	欧州海洋安全庁（EMSA）	52	11.1 %
3位	英国	52	11.1 %
4位	ノルウェー	52	11.1 %
5位	スペイン	52	11.1 %

【分担金・義務的拠出金の拠出上位5ヶ国等 （2011年のもの）】

	国　　名	金額（千ドル）	拠出率（%）（注）
1位			
2位			
3位			
4位			
5位			

【当該国際機関で働く邦人職員】

邦人職員数 うち幹部以上	0 人 うち 0 人	当該機関全体の職員数 及び邦人職員が占める率	1 人 0 %

【邦人職員が占めている幹部ポスト（Dポスト以上）】

ポストの名称	職 員 氏 名	備　考

【注:当該国際機関の会計年度】

当該国際機関の会計年度は毎年1月から12月末までとなっている。したがって、我が国（及び他の加盟国）とは会計年度が異なっているため、拠出率の扱いについては暦年となっている。